

R241(音更大通)通信

より利用しやすく安全な道に

News Letter

ニュース レター

vol.5

このニュースレターは、「国道241号（音更大通）に係る交通課題検討のための懇談会」の検討内容を地域の皆様にお知らせするために作成し配布しているものです。

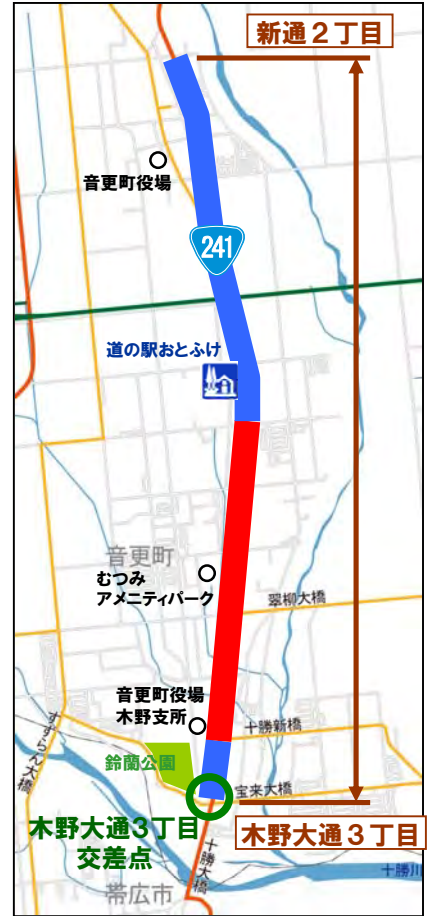
第5回 懇談会

平成25年2月27日に第5回懇談会を開催しました。国道241号の交通課題解決に向けた短期的な改善策に関する広報活動の報告と、実施後の効果について議論しました。

短期的な改善策の工事が完了

平成23年から懇談会での意見交換を通じて検討してきた短期的な改善策の工事が、昨年10月下旬～11月中旬に実施・完了しました。

沿道出入りの少ない区間 (右図 ■ 区間)	沿道出入りの多い区間 (右図 ■ 区間)	車線減少区間 (右図 ○ 区間)
4車線的な利用の抑制	4車線的な利用の抑制 +沿道出入りに配慮	急な車線変更・無理な 割り込み等を抑制
外側線を設置 (2車線の明確化)	外側線+中央ゼブラ ゾーンを設置	車線運用方法を変更
		



改善策の広報

■ 広報活動の報告

国道241号音更大通の利用方法が今回の改善策により大きく変わることから、利用者の皆様への事前周知が重要と考え、様々な広報活動を実施・報告しました。

■コンビニへのポスター設置の様子



■沿道大型店での周知活動の様子




音更大通の利用状況	広報の視点	実施した広報メニューと概要
国道241号は音更町民だけではなく、広い地域から来訪する人が利用	幅広い周知	①懇談会ニュースレター発行 第4回懇談会の議論内容を掲載。行政機関に設置。ホームページにも掲載。
老若男女さまざまな人が利用	多様な周知	②チラシ・ポスターの設置 行政機関、沿道店舗などに配布・設置。(チラシ約3,000部、ポスター約100部)
現在の利用方法(4車線的な使い方)が長く続いている	事前の周知	③音更町広報誌「広報おとふけ」への掲載 今回の改善策の検討経緯、整備内容、整備後の利用方法を掲載・配布。
		④沿道大型店での周知活動(パネル展示,チラシ配布等) 沿道大型店3店舗でパネル展示,チラシ配布。整備前後で2回実施。
		⑤コミュニティFMでの放送 FM2局で整備前から整備直後まで、合計約80回(1~2分程度)のCMを放送。
		⑥仮設看板の設置 現地にて利用方法が分かるよう、17箇所に仮設看板を設置。
		⑦帯広開発建設部から報道機関への発表 工事内容、工事の開始・終了など、適時報道機関に情報提供。多くが記事になる。

改善策の効果検証

■安全性(交通事故の危険性)に関する効果

4車線の走行車両(並走)の有無や交差点部での急な車線変更の有無など、危険行動の発生状況について、整備前後でどのように変化したか把握・確認した調査結果について議論しました。

◆効果検証のポイントと現地確認結果

幅広2車線 区間 (木野大通 3丁目以北)	4車線的に利用している車両が減っているか?	→ 整備直後から大幅に減少	=安全性向上	 <p>中央ゼブラゾーン利用の様子</p> <p>危険回避のために中央ゼブラゾーンを利用した右折車</p> =安全性が向上しつつある
	急な車線変更等による危険事象が抑制されているか?	→ 整備直後から大幅に抑制	=安全性向上	
	安全性確保のために中央ゼブラゾーンが利用されているか?	→ 整備直後はあまり利用されていなかったが、整備1ヵ月後には利用者が増加		
急激な車線 減少区間 (十勝大橋～ 木野大通 2丁目)	適正な車線利用がなされているか?	→ 整備1ヵ月後で適正な利用がされつつあるが、利用者の混乱がまだ見られる	=利用者の混乱、積雪の影響等があり、適正な評価に至らず(再調査の実施)	
	急な車線変更等による危険事象が抑制されているか?	→ 整備1ヵ月後で抑制されてきているが、まだ、急な車線変更等が見られる		

■円滑性(交通混雑)への影響

主要交差点における混雑状況や一定区間を走行する際の所要時間について整備前後の現地調査結果について議論しました。整備直後(約1週間後)の調査結果で、利用者の混乱も見られたため、適正な評価を行うにはデータが不十分とのことで、雪解け後に同様の調査を再度実施し、適正な評価を行った上で、今後の対応策について検討していくこととなりました。

懇談会参加者からの意見

【改善策の広報について】

- ・周知は綿密に計画・実施され良かったと思う。
- ・今回は周知に関して様々な方法で丁寧にやれたことは素晴らしい。

【対策効果の検証について】

- ・安全性は確保されたと実感しているが、反面、渋滞を招いたとの声がある。
- ・危険事象が減ったことは、トラック業界においても交通事故の減少・削減になるので良い成果。
- ・十勝大橋での車線利用や行き先案内が不十分であると感じる。
- ・十勝大橋付近以外では割りとスムーズだと地域の声もある。
- ・消防隊員に中央ゼブラゾーンについて聞き取りしたところ、緊急時に走りやすくなり、災害現場に到着するまでの時間も短くなり、搬送もしやすくなったと聞いている。

【中央ゼブラゾーンの使い方について】

- ・片側1車線通行を明示するための導流帯(安全に通行するための目安として表示したもの)であるため、横断は可能であるが、ゼブラゾーン内での通常走行及び停止は不可である。
- ・右折時に車両通行帯(走行車線)で右折待ちのため停止すると、後続車に追突される危険性があるため、安全性を確保するために中央ゼブラゾーンに入って停止することは問題ない。
- ・ゼブラゾーンは今回の安全対策の目玉であり、有効に使用してより安全性を高める方向で、使い方を含めて周知することが重要。



今後も引き続き、懇談会を開催し、地域の皆様、道路利用者の皆様と意見交換を行っていく予定です。雪解け後に再度必要な調査を実施し、今回の整備に関する効果検証を行うとともに、各種課題の改善に向けた方策について検討し、その結果の報告を次回懇談会で行う予定です。

■ご意見・お問い合わせ先

【事務局】音更町建設水道部 都市計画課

北海道開発局帯広開発建設部 道路計画課

TEL:0155-42-2111

TEL:0155-24-4106